

授業科目名	日本事情		授業形態	演習		授業科目区分		一般科目 (コミュニケーション科目)	
担当教員名	吉重 美紀					補助担当者名		な し	
単位数	2 単位		履修年次	1年次		受け入れ人数		10名程度	
授業の概要	留学生は、自国や自分自身について日本など他国との比較を通して意識的に捉えなおし、自国の事情や自分の考えを日本語で発信できる事が不可欠である。本授業では、日本事情をきっかけとして提供し、留学生の自国の事情と比較しながらクラスの討議を通して日本の諸事情の理解を深めると同時に、自国の事情についても発信できるようになることをめざす。								
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標		成績評価の方法						
			授業期間				定期 試験	その他	割合 %
			授業	テスト	レポート	発表			
	■認知的領域	日本国内で配布される印刷物等を読んで的確な行動がとれる。	○			○			30
	■情意的領域	日本社会・日本人の意識や行動に対して関心をもつと同時に、一緒に学ぶ留学生の異なる国々の文化や習慣にも関心を持つ。	○			○			30
■技能的領域	日本の国立大学で留学生に配布される印刷物等を使って、日本語での情報収集、情報伝達、原稿作成、発表などの基本的スキルを養成する。	○		○	○			40	
成績評価の基準	授業期間における演習への参加、レポート、口頭発表の各得点を合計し、60点以上の者を合格とする。								
テキスト、教材 参 考 書	テキスト：『ことばの風景（2）-日本の大学・地域・文化-』（吉重美紀著 鹿屋体育大学2008） 参考書：『新版 日本人と英米人-身ぶり・行動パターンの比較』（ジェイムズ・カーカップ、中野道雄著、大修館書店、2014） 『日本人らしさの発見』（芳賀 緩著、三水舎、2013）								
履修条件・ 関連科目	外部講師による日本語補講（レベル別）を同時に履修する事が望ましい。 7月、12月実施の日本語能力試験に挑戦する事が望ましい。		備考(教員メッセージ含む)		国際交流センター1階LL1教室を使用、 交流協定校からの特別聴講学生も受講可。				
オフィス・アワー	火曜日 15時50分～16：50分 図書館2階 吉重教員室								
授業計画									
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)			
1	吉重 美紀	日本語プレイスメントテスト、インタビュー、オリエンテーション				テキスト第1課予習			
2	〃	第一部 大学で 1. 修士受験				読み物の読解			
3	〃	2. 留学生の学位取得				読み物の読解			
4	〃	3. 奨学金申請				申請書を書く			
5	〃	4. 就職				学生にインタビューする			
6	〃	5. 未来を担う若者				新聞記事を読む			
7	〃	第二部 地域で 6. 公共施設の利用				申込書を書く			
8	〃	7. 観光地を訪ねる				母国の紹介（発表）指導			
9	〃	8. 薩摩の歴史探訪				案内を読む			
10	〃	9. 鹿児島の方言				発表指導			
11	〃	第三部 文化 11. フィットネスと現代社会				発表指導			
12	〃	12. 若者の車離れ				発表指導			
13	〃	13. 東京五輪展望				発表指導			
14	〃	14. 日本文化の発見				口頭発表課題提示			
15	〃	口頭発表				発表指導			
16	〃								